

H27.5.11. Mon.

1 ねらい

国語辞典の構造や使い方に興味をもち、進んで言葉を調べようとしている。【関】

2 学習の流れ

時間	主な学習活動	教師の支援
5分	1 国語辞典にふれてみる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何が書いてあるか，何のためのものか考えさせ，本時のめあてを設定する。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     国語辞典のしくみはどうなっているのかな。                 </div>	
10分	2 国語辞典を使う目的，構造を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の意味が分からないときどうしていたか，これまでの経験を想起させ，辞典を使う目的に結びつける。</li> <li>・どんな構造になっているか，実際に国語辞典に触れながら考えさせる。</li> <li>・「つめ」「はしら」「見出し語」などの用語を押さえる。</li> </ul>
10分	3 見出し語の並び方を考える。 例) 広い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五十音順になっていることを押さえる。</li> <li>・ホール→ボール→ポールを確かめる。</li> <li>・カード，チーズなどについても確かめる。</li> </ul>
5分	4 分かったことをプリントでまとめる。	
10分	5 実際に言葉調べをしてみる。 例) 「どきん」「きつつきの商売」から	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで同じ言葉を調べてみる。</li> <li>・様子を見て，ペアで調べさせたり自分で調べさせたりする。</li> </ul>
5分	6 ふり返りを書く。	

3 評価

国語辞典の構造や使い方に興味をもち，文字や語句を調べている。